

市政の取組状況について

平成29年1月
鹿屋市

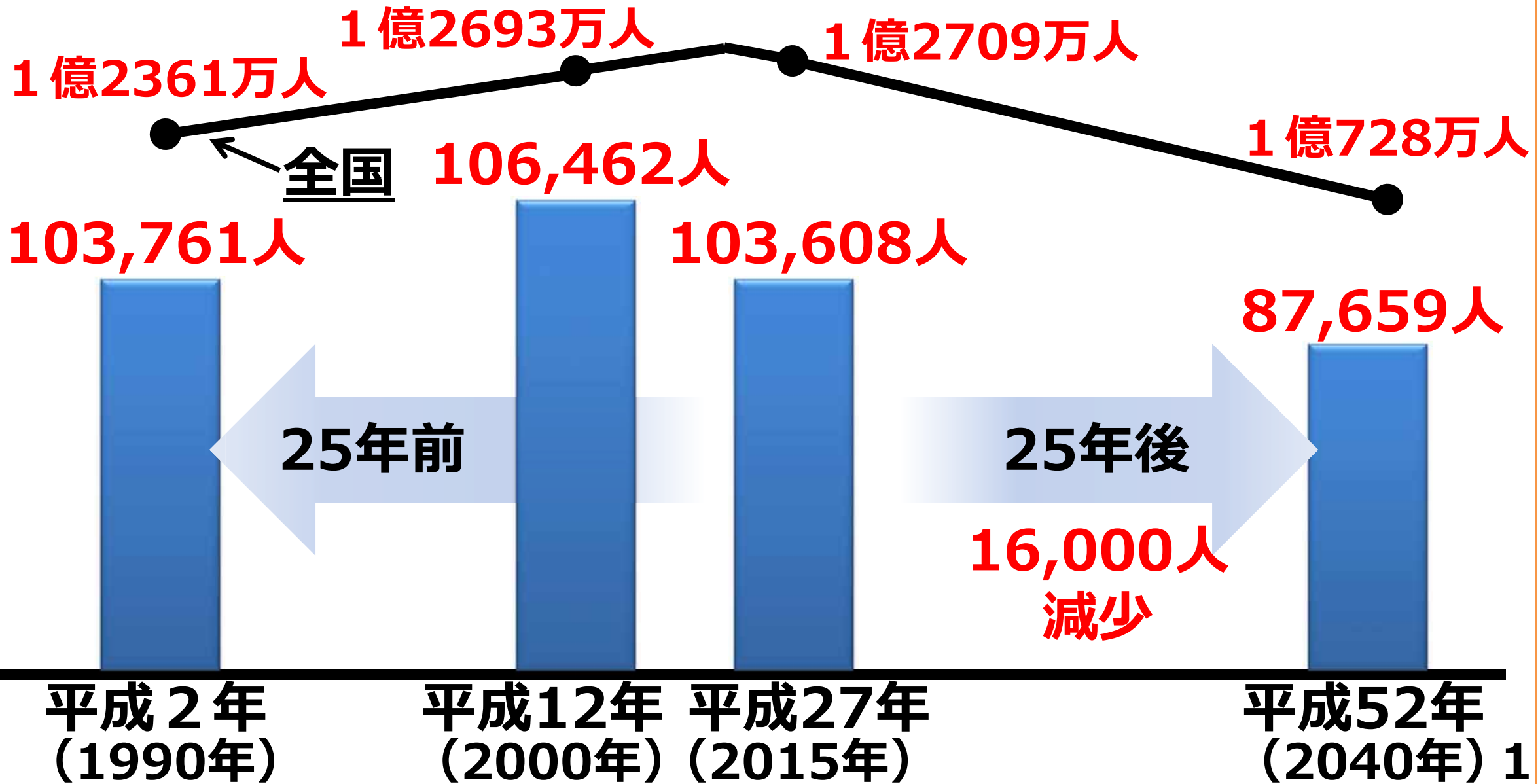
鹿屋市の現状



鹿屋市の人口と将来予測

H29.1.25 市政報告会資料

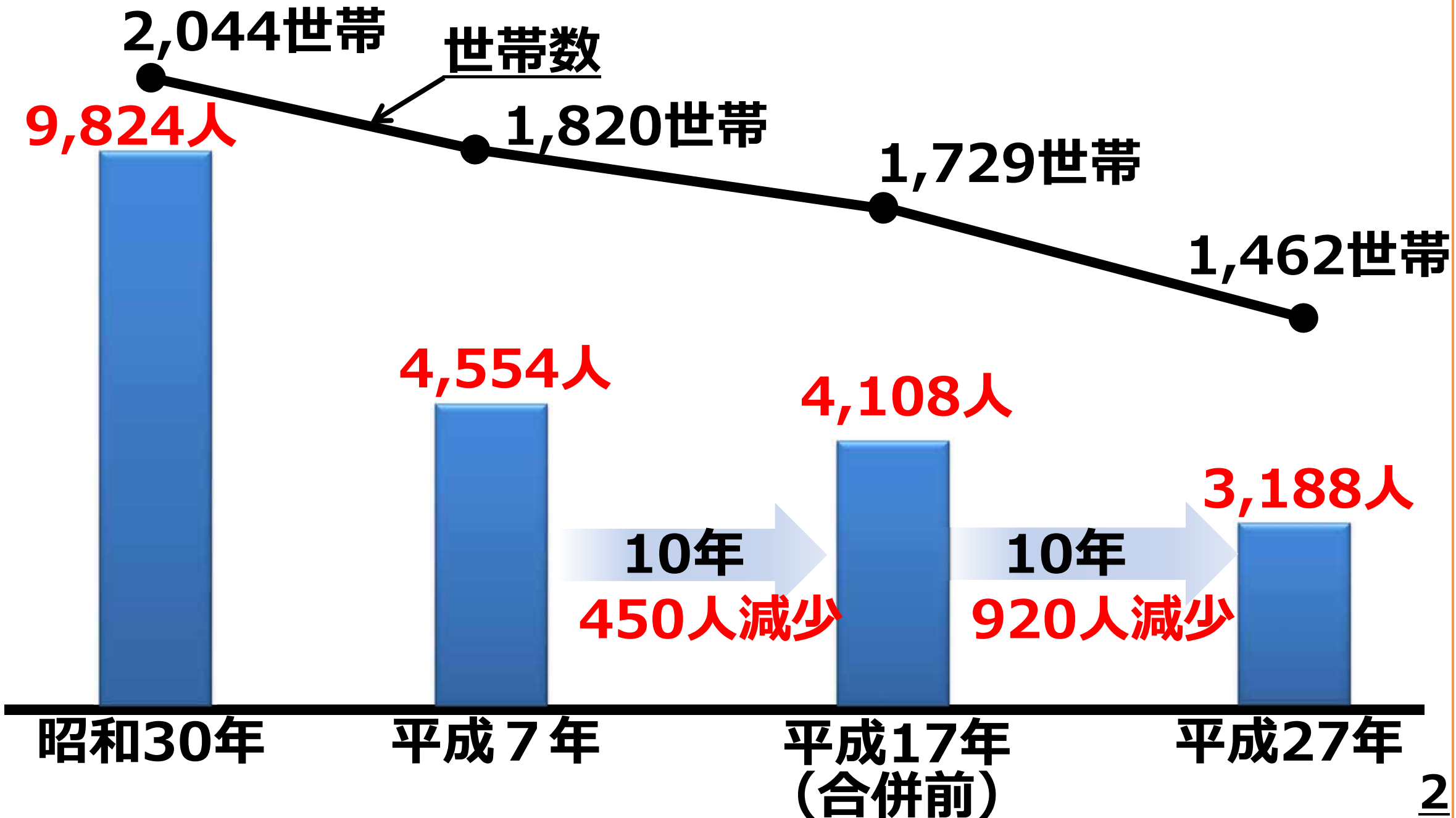
- ◆鹿屋市の人口は、平成12年ごろをピークに減少。
- ◆このまま推移すると、平成52年には8万7千人まで減少。



■ 輝北地域の人口推移

H29.1.25 市政報告会資料

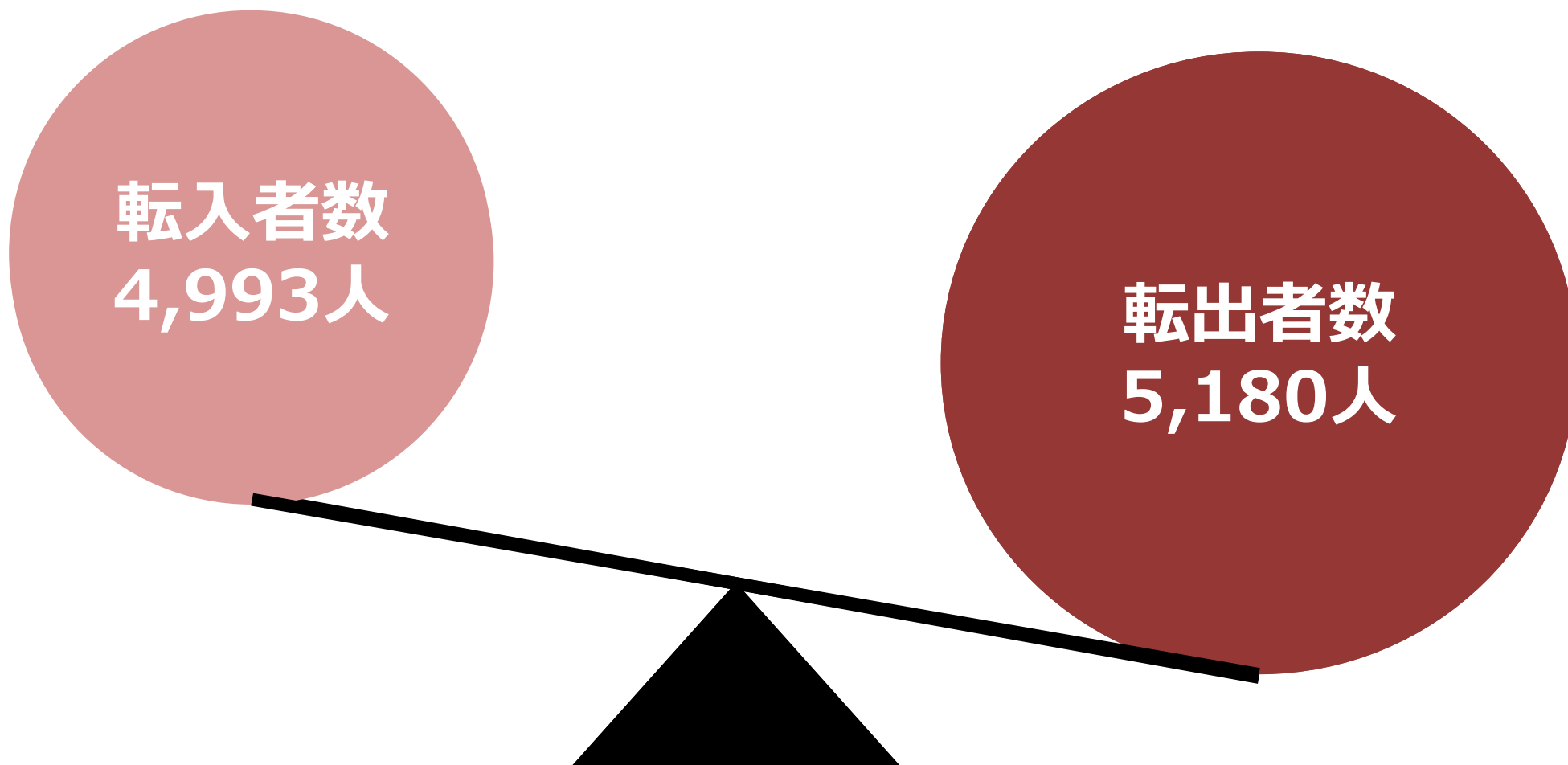
◆ 輝北地域の人口は、昭和30年ごろをピークに減少。



鹿屋市の人口動態

H29.1.25 市政報告会資料

- ◆ 自然増減：死亡数 > 出生数（自然減の状態）
- ◆ 社会増減：転出者数 > 転入者数（社会減の状態）



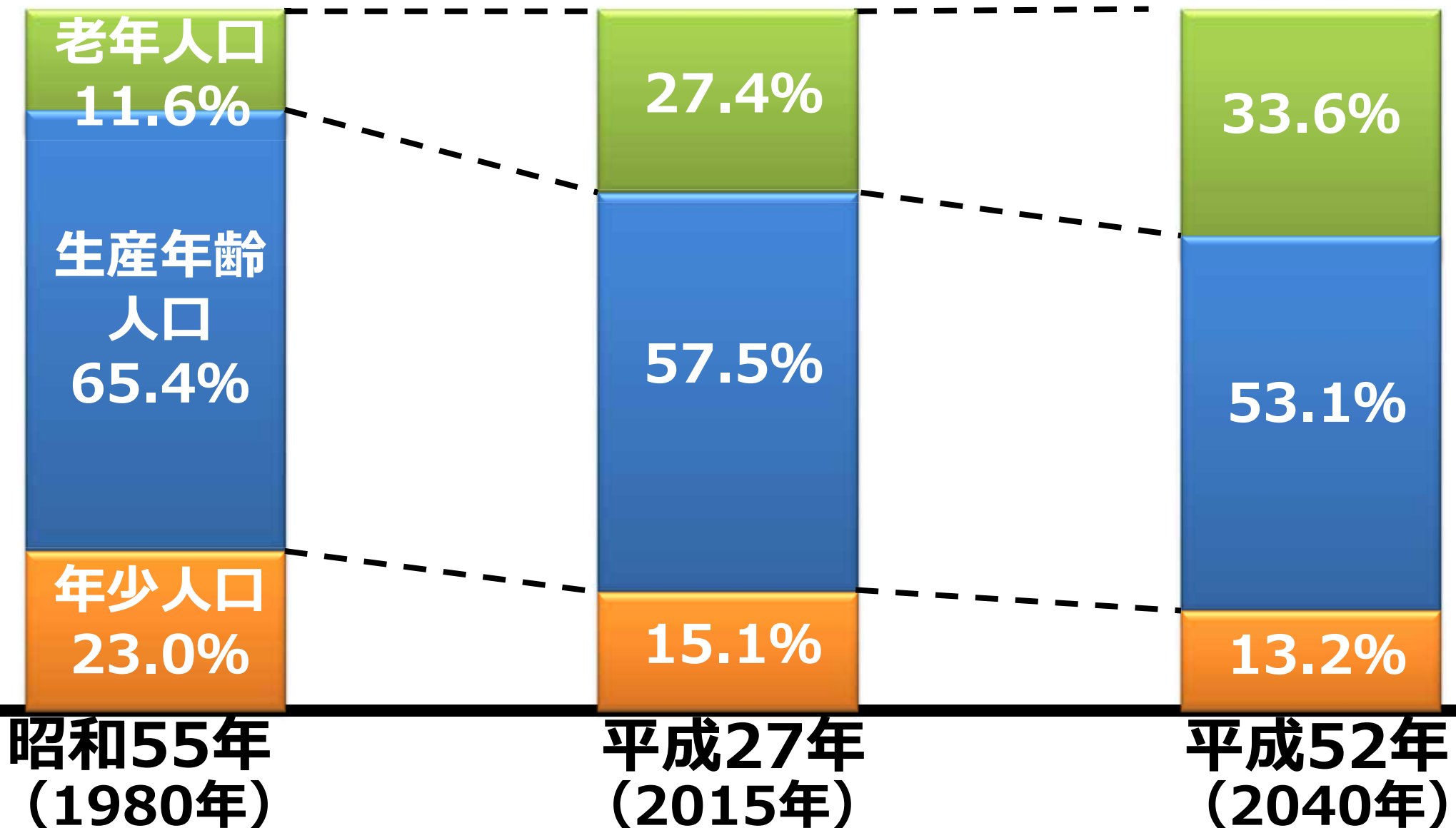
自然減 △ 177人（平成27年）

社会減 △ 187人（平成27年）

■ 高齢化率の推移

H29.1.25 市政報告会資料

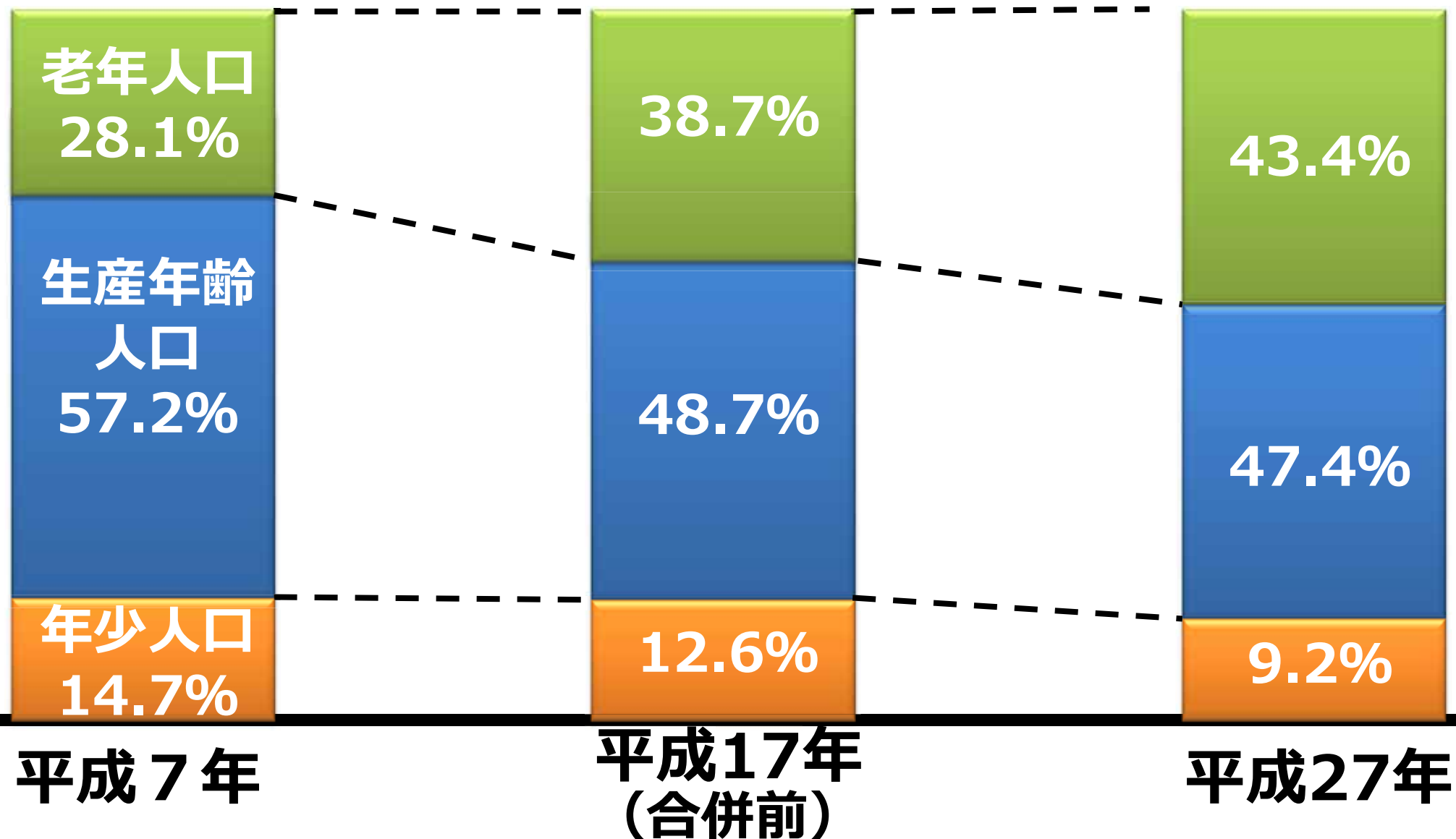
- ◆ 老年人口（65歳以上）は一貫して増加。
- ◆ 平成12年から年少人口（14歳以下）の数を逆転。



■ 輝北地域の高齢化率の推移

H29.1.25 市政報告会資料

- ◆ 近年、老年人口（65歳以上）割合が急激に増加
- ◆ 平成27年には老年人口と生産年齢人口がほぼ同程度の状況



◆今後の重要課題

「一定程度の人口の維持」と「高齢化社会への対応」

働く場の確立・拡大

- ・ 若年層の流出抑制
- ・ 高齢者の活躍促進
- ・ 移住・定住の促進

子育て環境の充実

健康寿命の延伸

など

【人口の将来目標】 2060年に9万人程度の人口を維持

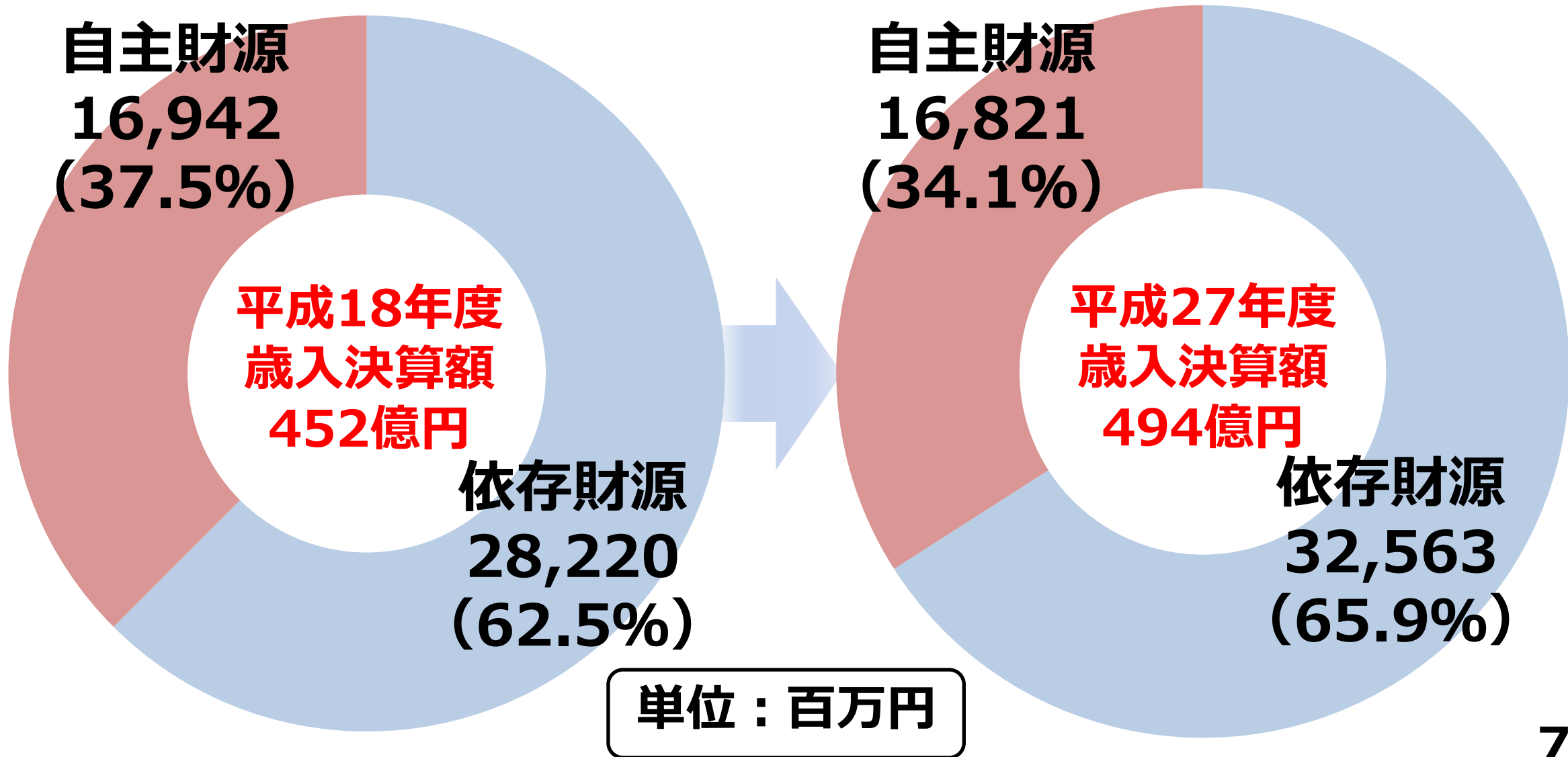
合計特殊出生率2.1

人口移動（転入・転出）の
均衡（±0）

鹿屋市の財政状況① (10年前との比較)

H29.1.25 市政報告会資料

- ◆歳入全体は増加。
- ◆歳入に占める自主財源の割合は減少。



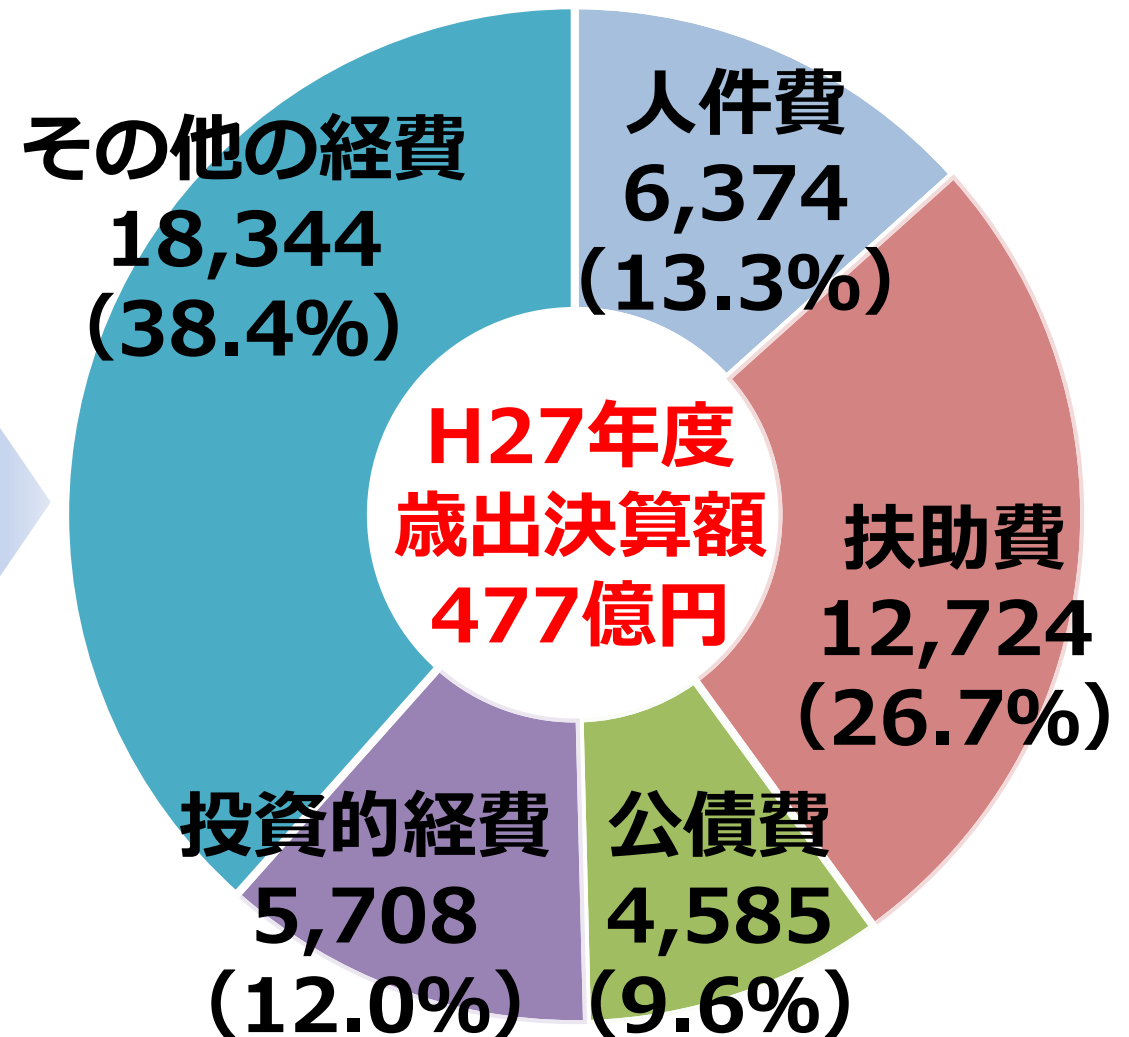
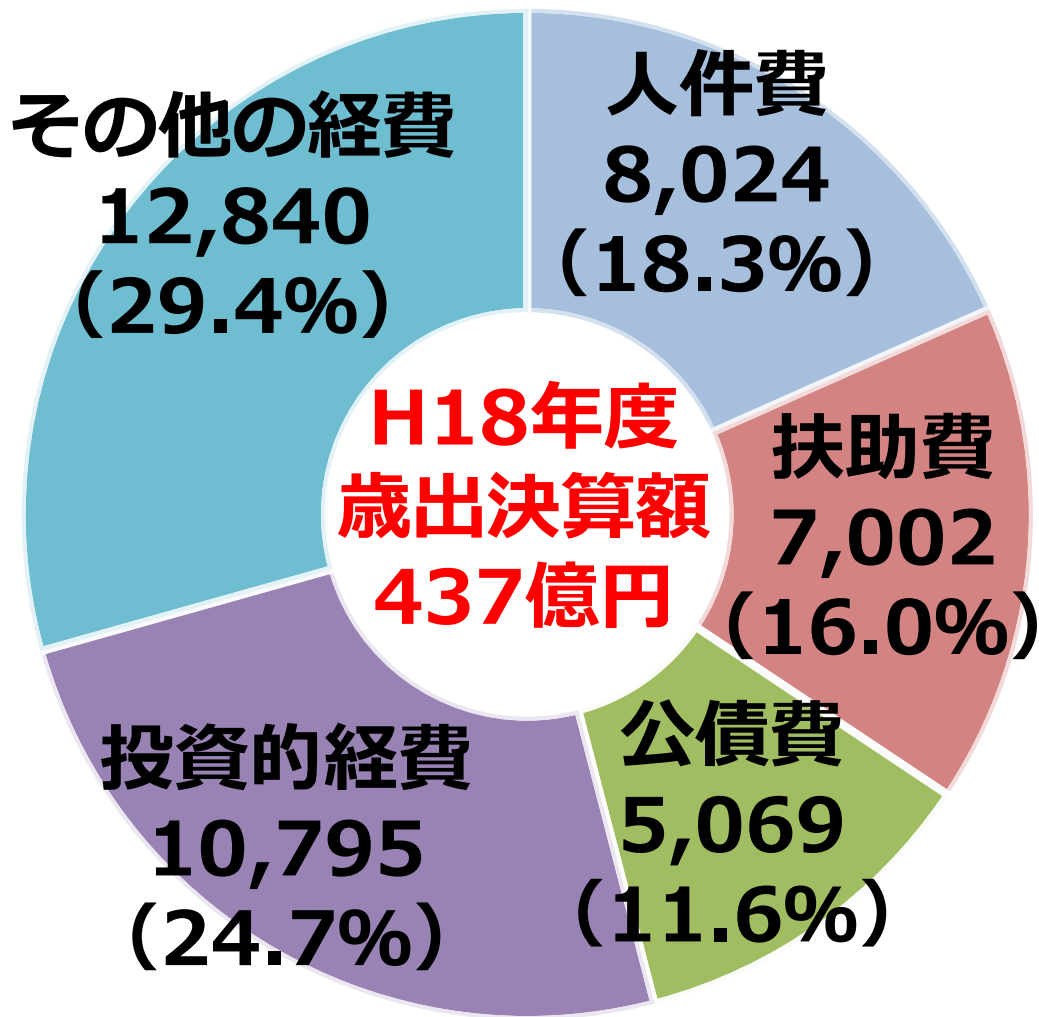
■ 鹿屋市の財政状況② (類似団体との比較) H29.1.25 市政報 単査資料

H27歳入決算		鹿屋市	薩摩川内市	霧島市
人口		103,608人	96,076人	125,857人
面積		448.38km ²	682.94km ²	603.18km ²
自主財源	市税	104億	123億	153億
	繰入金	20億	31億	24億
	その他	44億	54億	59億
	小計	168億	208億	236億
依存財源	地方交付税	136億	173億	164億
	国・県支出金	123億	127億	126億
	市債	41億	35億	63億
	その他	26億	26億	34億
	小計	326億	361億	387億

鹿屋市の財政状況③ (10年前との比較)

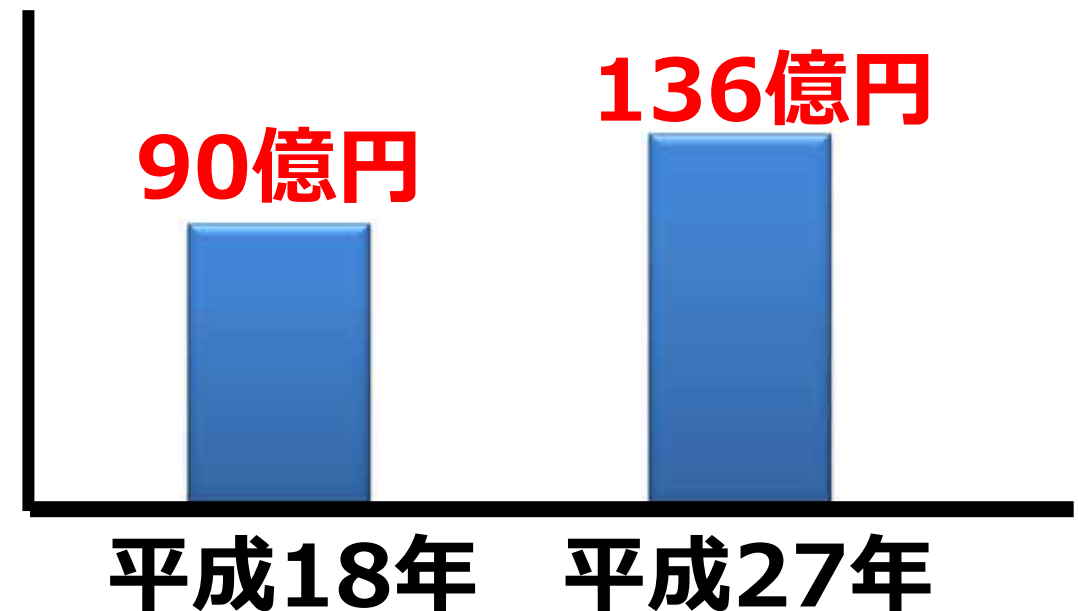
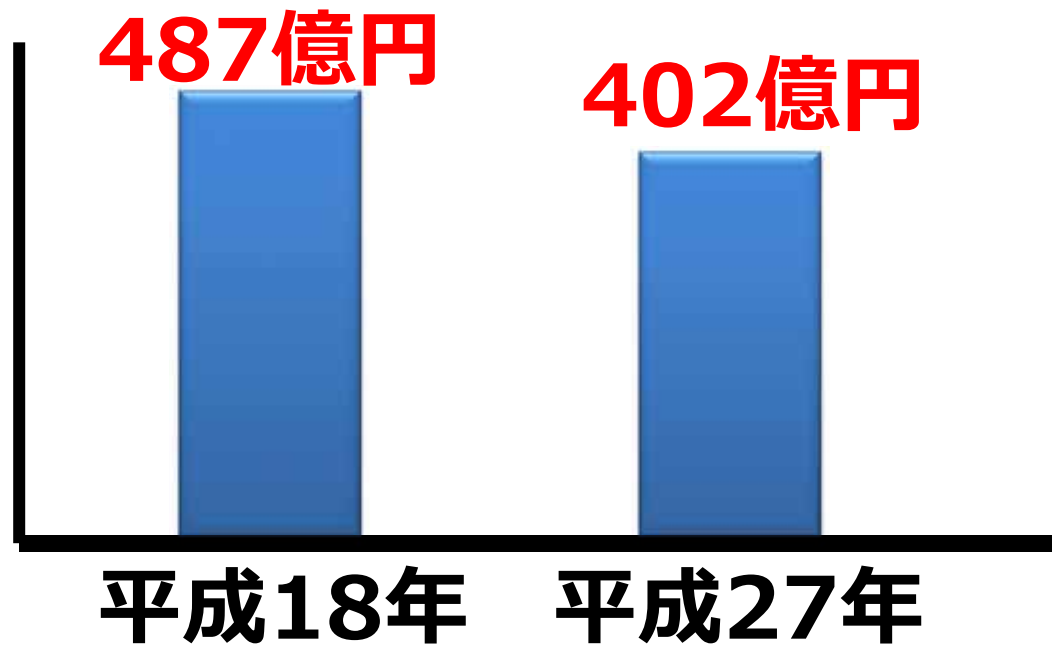
H29.1.25 市政報告会資料

単位：百万円



<市債（借入金）残高の推移>

<基金（積立金）残高の推移>



<市債（借入金）による主な事業（H27）>

- ・ 学校施設耐震化等の学校施設整備
- ・ 道路、橋りょう、排水路等の整備
- ・ 防災行政無線等の防災施設整備
- ・ 農地整備 など

◆ 今後の重要課題

持続可能な健全な財政運営の確立

財源の確保

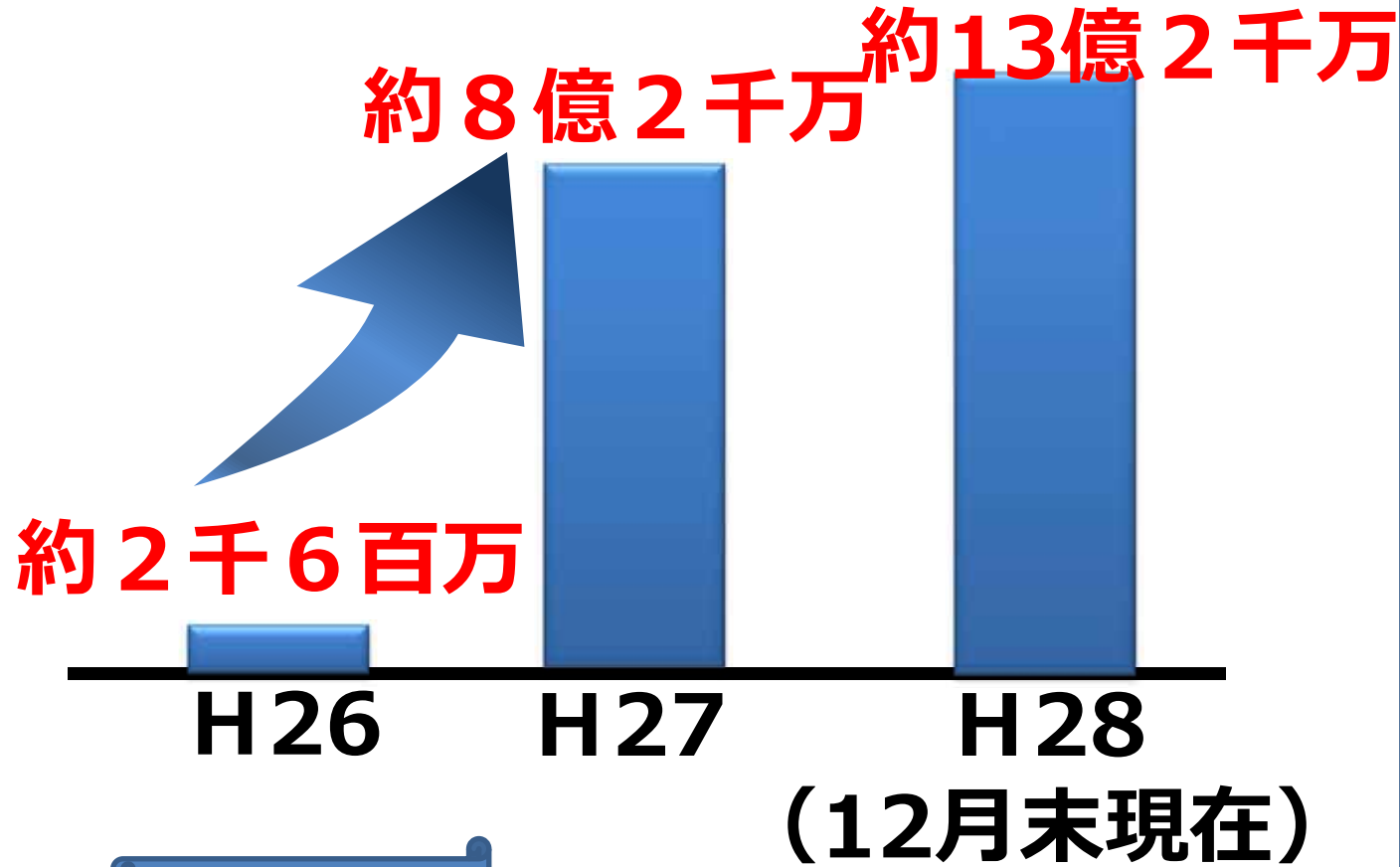
- ・ ふるさと納税
- ・ 広告事業の推進
- ・ 市税の収納率向上
- ・ 未利用財産の
売却・活用
- ・ 基金の運用 など

歳出の抑制

- ・ 予算の重点化
- ・ 職員の定員適正化
(人件費の抑制)
- ・ 広域連携の推進
- ・ 公民連携(PFI等)
など

行財政改革の主な取組状況①

○ふるさと納税の推進 ＜ふるさと納税額の推移＞



参考①

納税額ランキング (H27)
全国36位、県内2位

参考②

人気が高い返礼品



○広告事業の推進

【主な取組】

- ・ 広報かのや広告
- ・ ごみ袋広告（H27～）
- ・ 庁舎内広告など

【広告料収入】

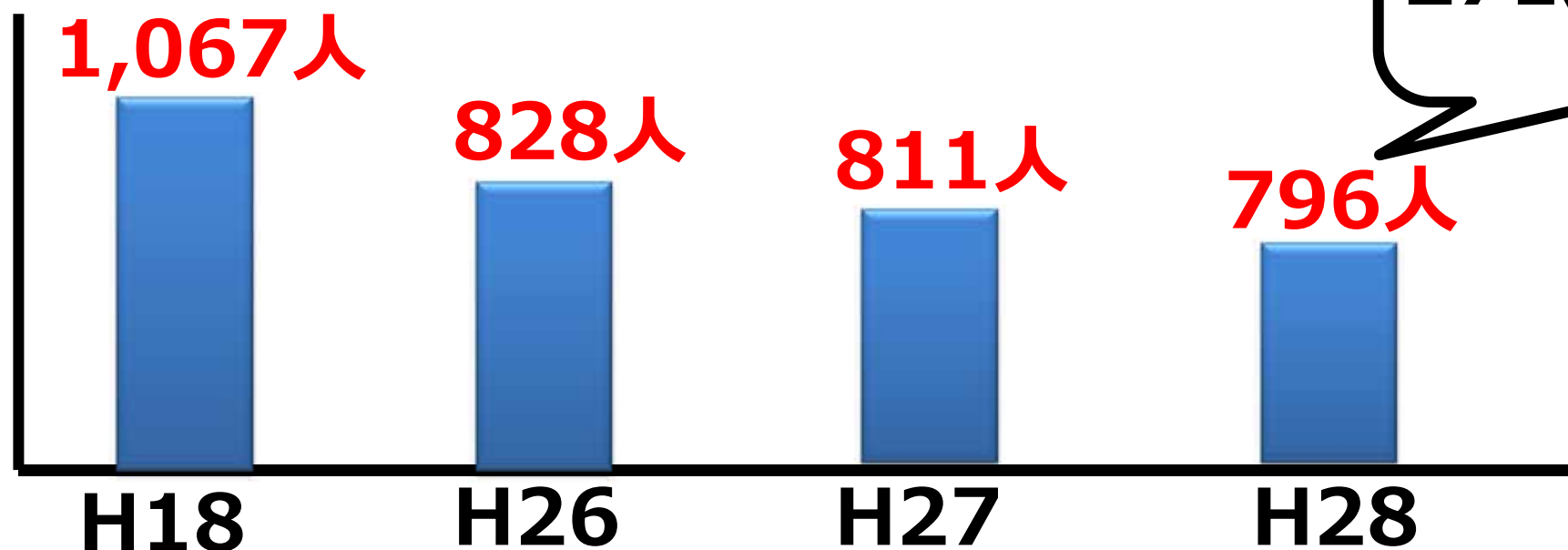
H26:約310万円

H27:約370万円

○職員の定員適正化（人件費の抑制）

【職員数の推移】

合併後10年で
271人減



○学校跡地の有効活用

＜活用手順＞ ①地域利用意向調査の実施（意向確認）⇒
②本市での活用検討⇒③利活用希望者の公募

【利活用実績】

- ・岳野小学校跡地：果樹の栽培
- ・市成小学校跡地：地域コミュニティ施設
- ・平南小学校跡地：さつまいも出荷場
- ・高尾小学校跡地：キクラゲの菌床栽培（予定）

○その他市有財産の有効活用

- ・輝北総合支所内空きスペースに
百引郵便局を移転
(H28.3.28開局)



▲百引郵便局

**「もっと身近な、もっと熱い、
もっと分かり易い」
市政運営の取組**

豊かさと温もりを実感できる
“市民が主役の明るい未来づくり”

『もっと身近な、もっと熱い、もっと分かり易い』
市政運営

本気で語ろう会

市民の声直行便

市政モニター制度

高校生議会

地域おこし協力隊

職員の相互交流

外部人材の活用

■本気で語ろう会

- ・子育て世代のお母さんたちや、地域おこしのグループなど37回(輝北地域5回)の意見交換
- ・市民のみなさんの生の声を市政運営に反映



▲輝北子育てサロン
てるぽっく



▲輝北キラキラ館運営協議会

■本気で語ろう会

【主な対応状況】 語ろう会での意見

- ・子育て支援施設の設置について



【その他の取組】

妊娠、出産、子育て期までの総合相談支援を行うため市保健相談センター内に、「子育て世代支援センター」を新たに設置(H28.4月)

- ▲ふれあい広場ぽかぽか設置(H28.6月)
(輝北ふれあいセンター内)

■市民の声直行便

H29.1.25 市政報告会資料

市民の皆さんから市政に関するご意見やご提言をいただくための提案制度（全てHPで公表）

市民提案件数：334件
（平成26年7月～28年11月）

＜内訳＞

- ・ 提 案： 59件
- ・ 要 望： 101件
- ・ 意 見： 90件
- ・ 苦 情： 84件



▲直行便専用ポスト
(本庁舎、総合支所に設置)

■ 地域おこし協力隊

H29.1.25 市政報告会資料

- ・ 地域おこしの新たな担い手として、
新たな視点や発想による地域活性化の
取組を推進

現在10名が
活動中



▲ 輝北町特産品等開発推進員



▲ 神野地区の自然や食の活用

**戦略① 雇用と所得につながる
産業をおこすまちづくりの取組
(産業振興)**

■ 鹿屋市の市民所得と産業振興

第二次産業(製造業等)の
生産額が鹿屋市の約2倍

< 鹿屋市の市民所得 (H25) >

	鹿屋市	薩摩川内市	霧島市
市内総生産額	3,221億円	3,516億円	4,325億円
市民所得	2,298千円/人	2,453千円/人	2,515千円/人

生産額に大きく寄与する第二次産業（製造業等）の
割合が低い

本市の基幹産業である第一次産業を機軸とした産業の
活性化が、本市の経済成長の原動力

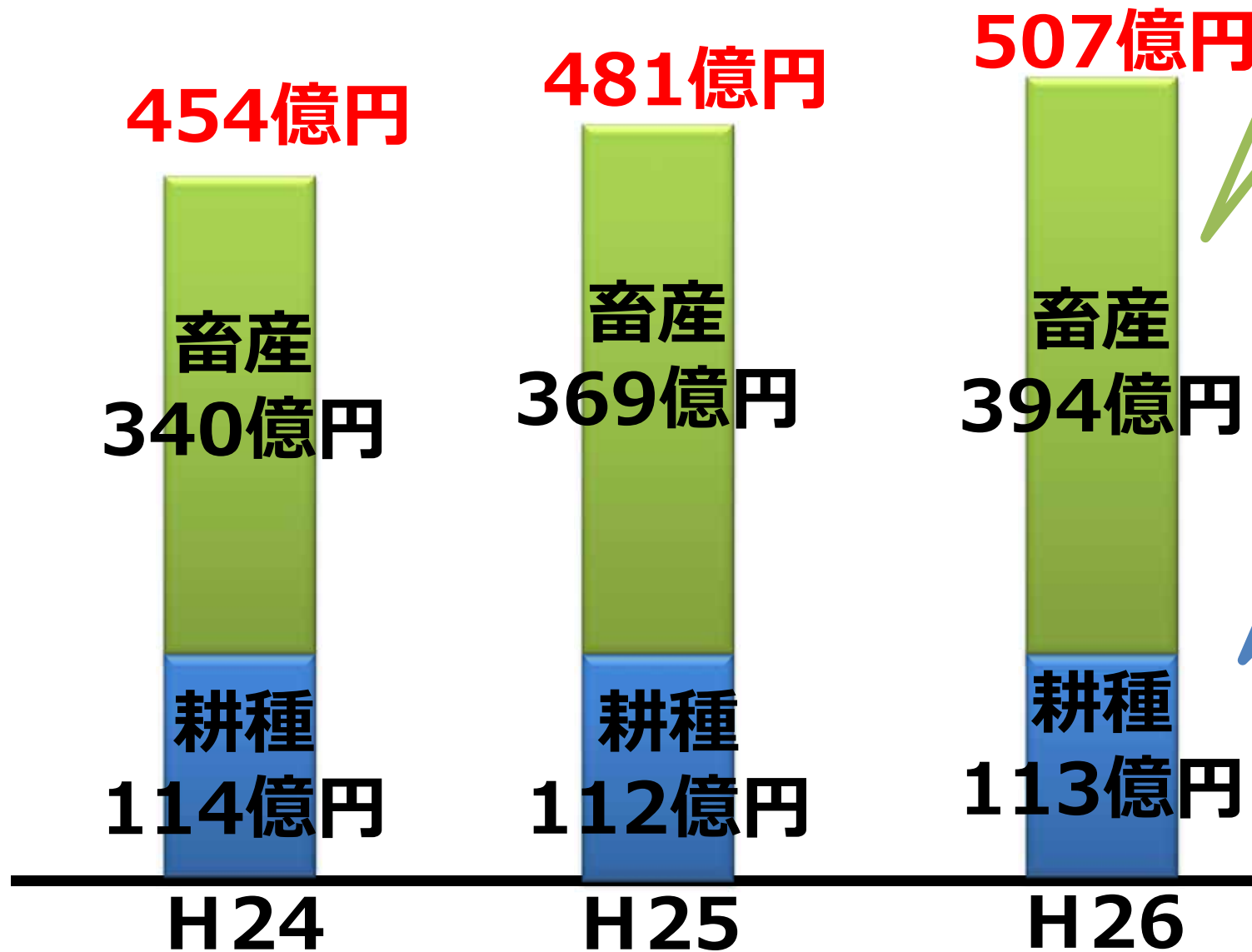
- ・ 素材提供型の農業から高付加価値型農業への展開
- ・ 地域資源を活かした食品関連産業の誘致推進 など

「農業のまち」鹿屋の実態

H29.1.25 市政報告会資料

<農業産出額>

農業産出額（H26）は全国11位！



<畜産内訳>

- ・ 豚 : 147億円
- ・ 肉用牛 : 135億円
- ・ 鶏 : 91億円
- ・ 乳用牛 : 21億円

<耕種内訳>

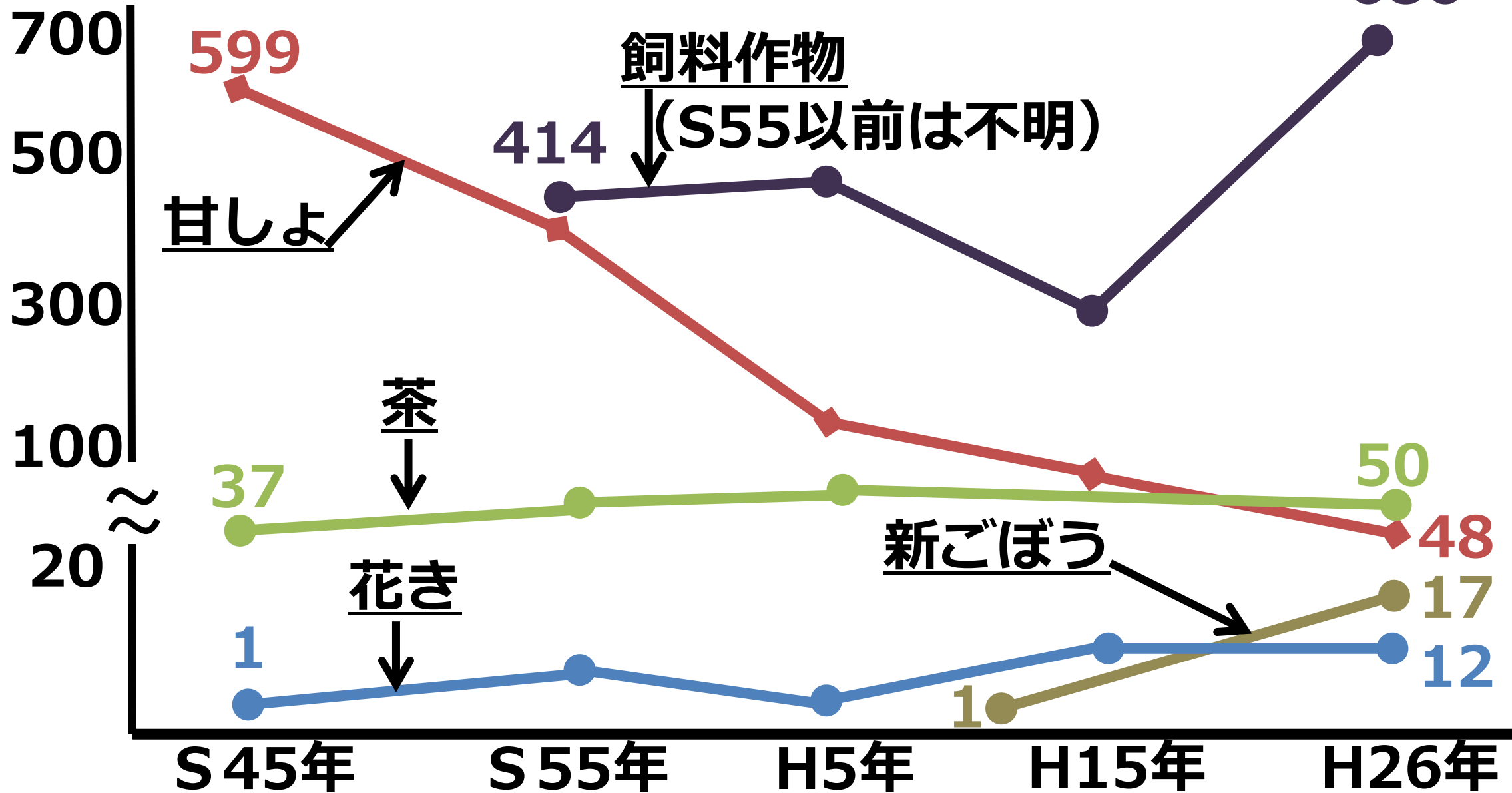
- ・ 野菜 : 55億円
- ・ いも類 : 22億円
- ・ 米 : 15億円
- ・ 茶 (生・加工) : 10億円
- ・ 花き : 10億円
- ・ その他 : 1億円

■ 輝北地域における主要品目の変遷

H29.1.25 市政報告会資料

<主要品目の作付面積>

(単位：ha)



○ 「新ごぼう」の生産拡大

＜輝北地域の生産販売実績＞

	H18	H22	H25	H27
面積(ha)	6.1	6.8	13.2	16.9
数量(t)	—	60.9	146.1	177.7
金額(千円)	—	31,111	78,163	92,404

面積：大隅ごぼう団地全体の**23%**を輝北地区で耕作
 出荷量：大隅ごぼう団地全体の**29%**を輝北地区で出荷
 （※平成28年度生産販売計画ベースでの割合）

かのや
農業・農村戦略ビジョン



平成27年2月 鹿屋市

- 農業・農村の将来像とその実現に向けた各種方策を盛り込んだビジョンを策定(H27.2月策定)



農業都市かのやの再生

地域雇用と所得
の増大

農村社会の
活性化

○ 肝属中部地区畑地かんがい施設の整備

ダム（荒瀬ダム）、貯水タンク、
パイプライン整備などの大規模畑地
かんがい事業の実施

- ・ 平成28年度末から一部通水
- ・ 平成38年度（予定）から全面通水



▲ 荒瀬ダム

○ 浦谷地区水田圃場整備

- ・ 実施年度：平成26年度～平成31年度
- ・ 整備面積：47.4ha（5団地）

耕地条件の改善による
耕作放棄地防止・農地保全

土地利用集積による
生産性の高い農業の展開

○ 農地の集積・集約の促進

- ・ 農地中間管理事業を活用した農地の集積
推進員の配置、モデル地区・重点推進地区の設定による集積の促進

<輝北地域の集積実績>

H27 : 112筆 126,597m²

H28 : 166筆 274,590m²

○ 降灰対策の推進

- ・ ビニールハウス等の施設、野菜洗浄機、飼料作物
収穫機等の機械導入助成 など

<降灰対策の支援実績（輝北地域）>

年度	団体等数	補助額（千円）
平成26年度	1	31,018
平成28年度	3	10,185

- **高収益な作物・栽培体系への転換の促進**
⇒ **生産性・販売額の向上** **(産地パワーアップ事業等)**
 - ・ **トラクター、マルチャー等の機械類の導入、集出荷貯蔵施設等の施設整備費用への助成** など

- **新たな農作物の導入促進**
 - ・ **新規作物導入に係る生産資材購入への助成**
【導入事例】 **トレビス、花岡胡椒、桜島大根**など

- **輪作の促進による耕地の有効活用**
 - ・ **輪作に挑戦する生産者に対する生産資材購入への助成**

○ 鹿屋市農業公社施設の有効活用

＜経緯・背景＞

- ・ これまで30名のスプレー菊研修生を受入れ、24名就農
- ・ 需要低迷、燃料費高騰などにより、平成26年度以降、研修生の応募が無い状況

公社施設の有効活用に向けた検討



有効活用の方向性（検討中）

輝北町で新規就農しようとする者などへの貸出や、
新たな品目の試験栽培等、柔軟に活用

○ 地元食材を活用した新商品開発に対する支援

- ・ 産業支援センター、大隅よろず相談窓口による相談支援
- ・ 県大隅加工技術研究センターの活用
- ・ 商談会への出展支援

< 相談支援実績(H27) >

	件数				
		創業	公的支援 知的財産 など	商品開発 販路拡大 など	その他
産業支援 センター	183	42	50	84	7
大隅よろず 相談窓口	70	13	17	31	9

○ 県大隅加工技術研究センター

野菜の加工・流通技術の研究や新商品の開発等を
支援する拠点施設



▲ 県大隅加工技術研究センター
(H27.4月オープン)

【開発事例】



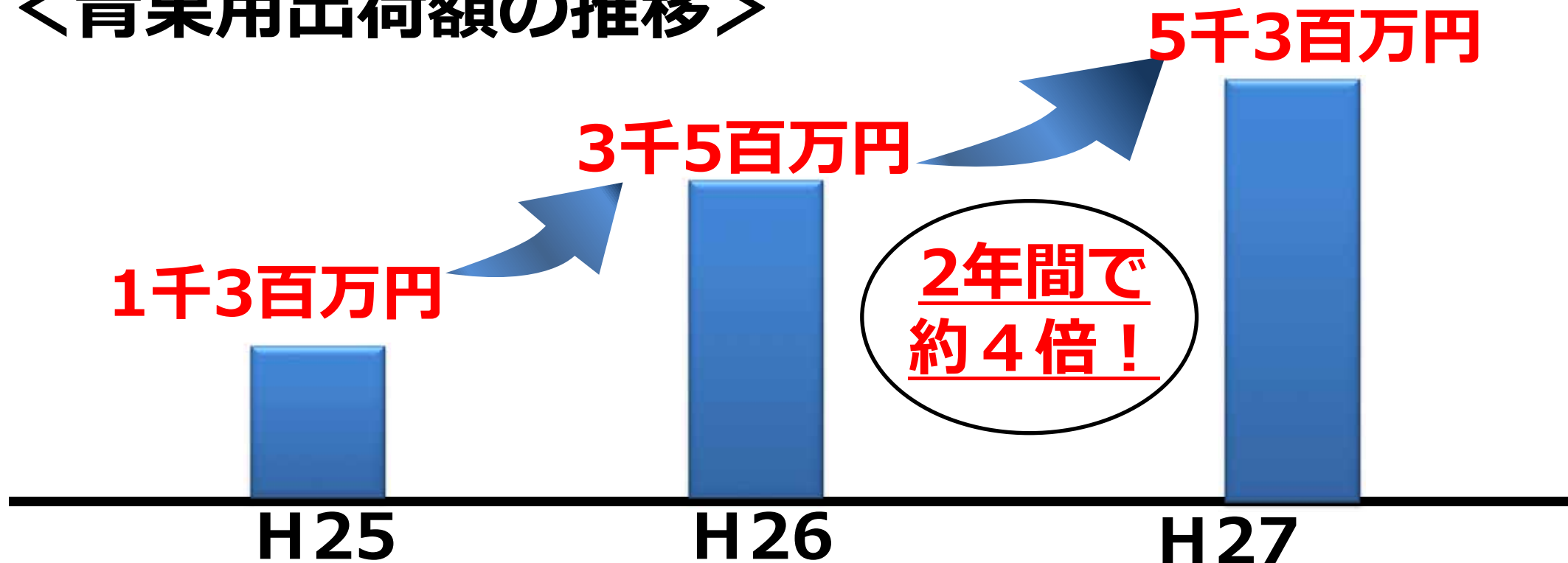
▲ あしたのおやつ
(乾燥野菜チップス) 30

「かのや紅はるか」の産地化・銘柄確立



- ・ 一定の基準をクリアし市場出荷されたものに対する奨励金の創設
- ・ 安定した苗を提供するための育苗施設の整備など

<青果用出荷額の推移>



「かのや深蒸し茶」の産地化・銘柄確立



▲ 機能性緑茶「Dew」

○ 他産地との差別化

- ・ 女性をターゲットに機能性に特化した新商品の販売
- ・ 「グローバルギャップ」(国際的な安全基準)の取組

今年度、
2農家が取得予定

○ 全国に誇れる「かのや深蒸し茶」

県茶品評会において、

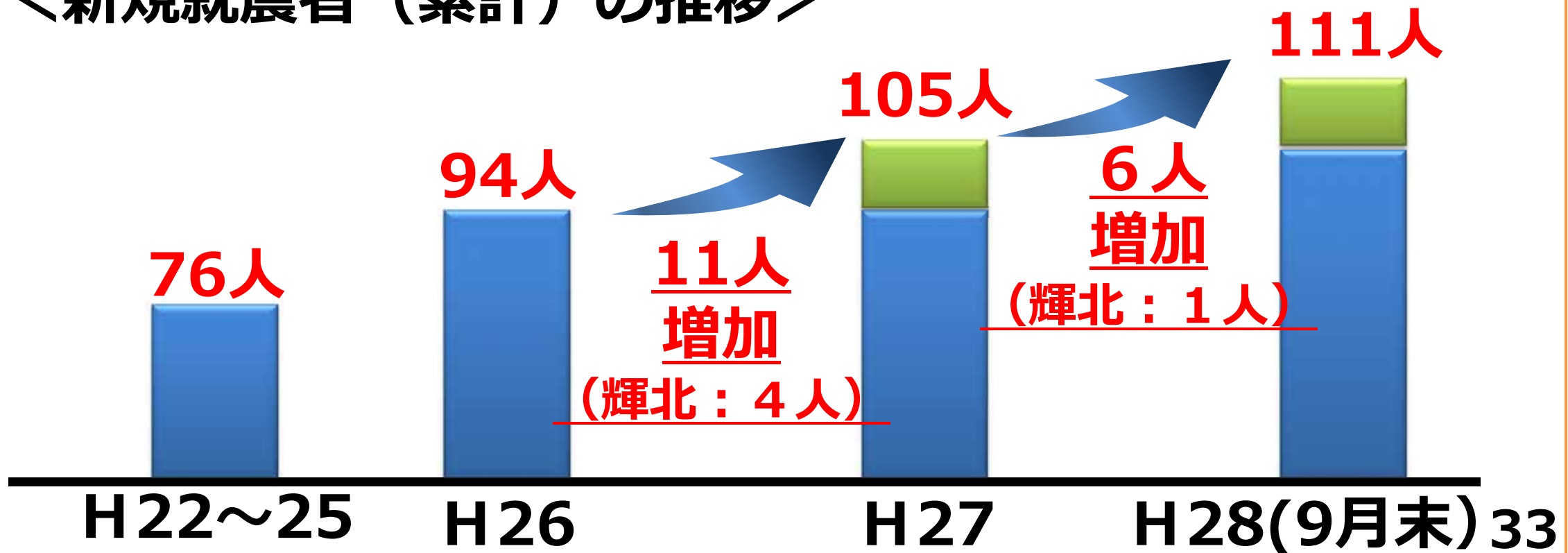
8年連続産地賞受賞 (～H27)

新規就農者の確保・育成

- 就農前の研修期間における生活資金や就農準備への助成など



<新規就農者（累計）の推移>



○食品流通の川中（加工）・川下（流通・販売）の オーダーに対応できる仕組みづくり

【これまでの取組状況】

- 農産物等の生産・出荷に係る関係者協議（H28.2～4月）
- 「かのや農業商社」が担うべき機能の実証
（複数の生産農家の連携による商談への対応など）

<生産体制の強化>

- ・機能性ニンジン「こいくれない」産地化の取組
- ・飼料用子実トウモロコシの生産実証

<販路開拓>

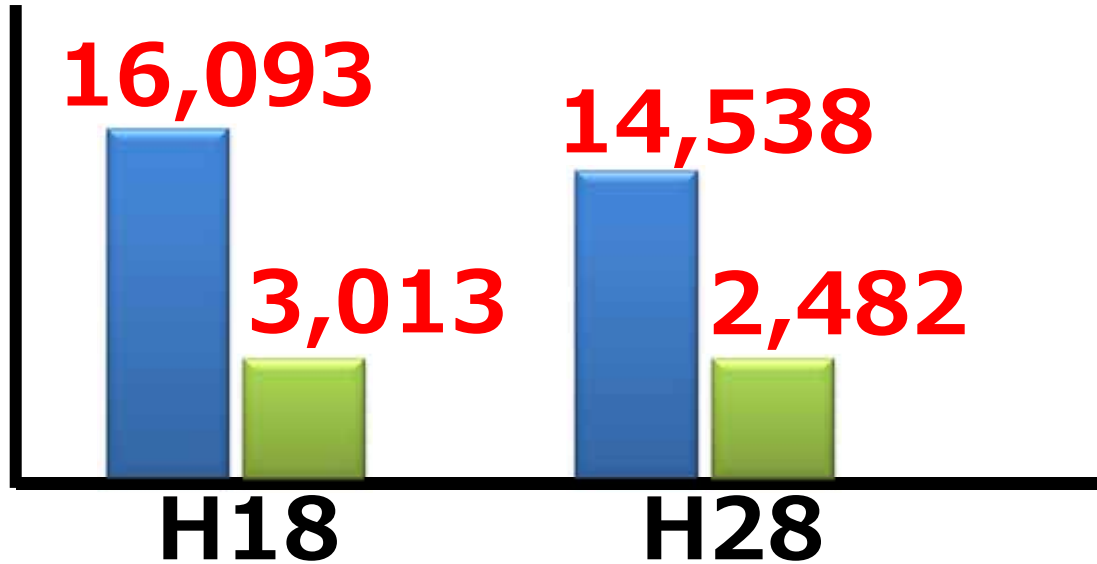
- ・生産農家の連携による都市圏青果卸業者との商談
（大口ロットでのニンジン等取引）
- ・海外での商談会への参加及び市内事業者の出展支援

「畜産のまち」鹿屋の実態

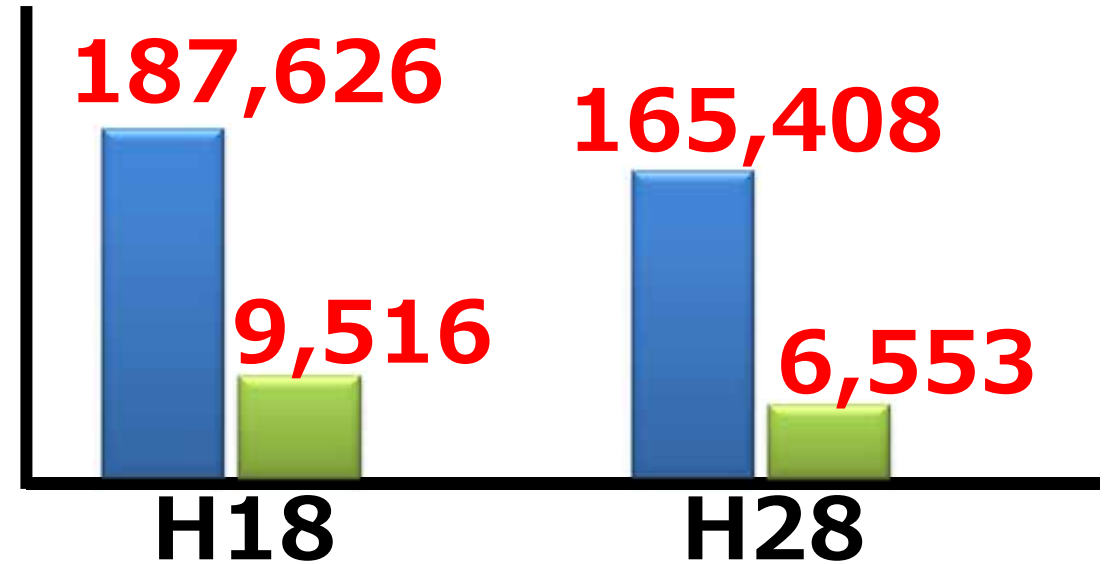
H29.1.25 市政報告会資料

＜家畜飼養頭数（青：市全体 緑：輝北）＞

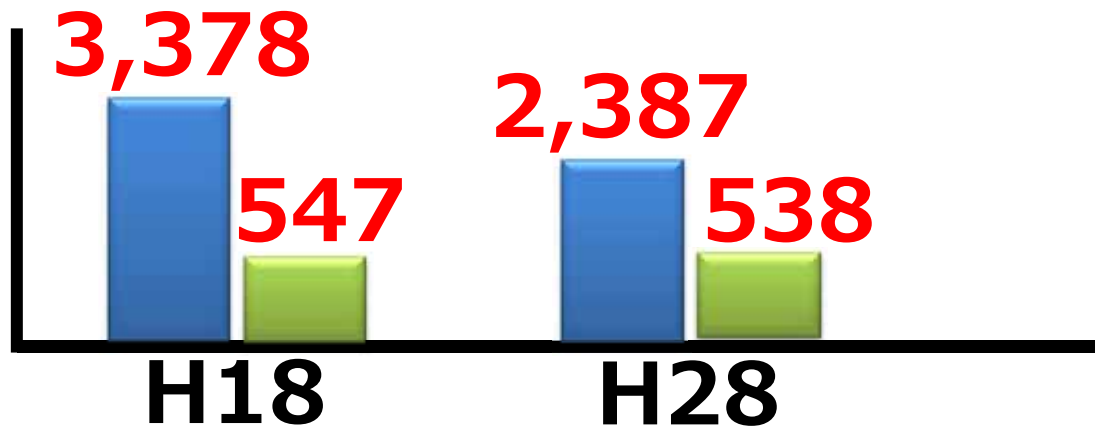
【繁殖雌牛頭数】



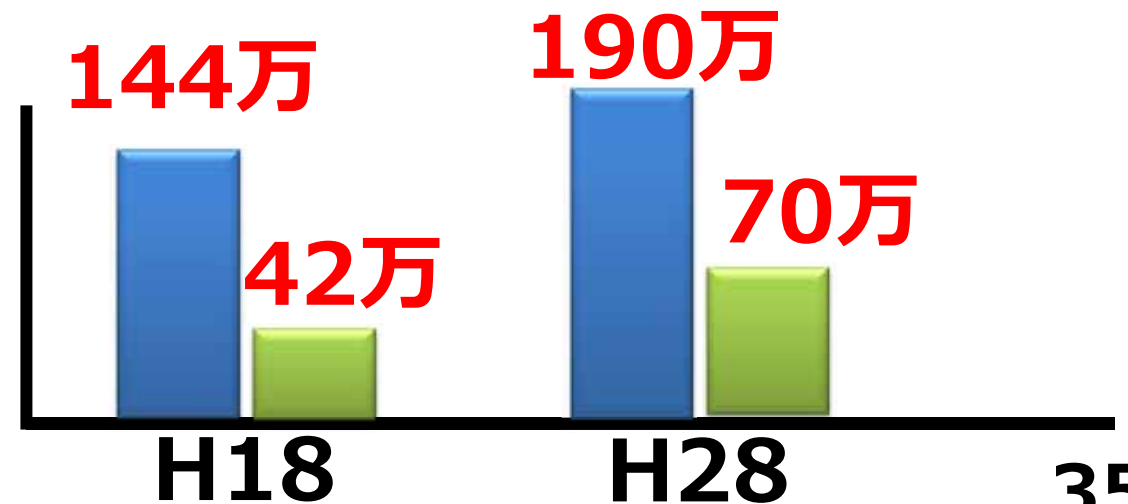
【肥育豚頭数】



【酪農・成牛頭数】



【ブロイラー・飼養羽数】



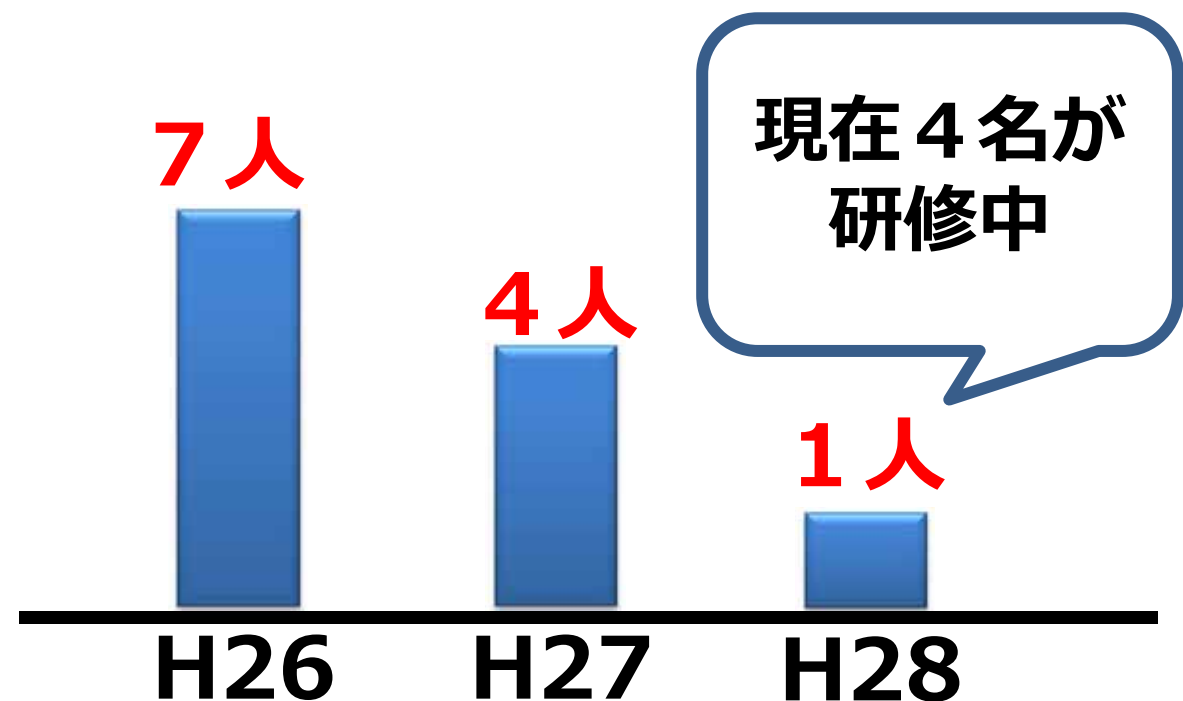
○生産基盤の強化

- ・規模拡大、経営維持への支援
(牛舎等整備への支援、高齢農家の生産維持奨励金など)
- ・担い手の確保 など



▲肉用牛牛舎整備事業

<新規就農者の推移>



○ 経営力の強化（畜産クラスター事業）

- ・ 畜産経営における収益性の向上や畜産環境問題への対応に必要な施設整備や機械整備を支援

① 中心的経営体の育成

- ・ 低コスト牛舎等の導入

② 鹿児島黒牛等の輸出拡大に向けた基盤強化

- ・ 低コスト牛舎の整備による規模拡大
- ・ 肥育成績のフィードバックによる商品力の向上

③ 自給飼料供給施設等の導入

- ・ 飼料生産の外部化による省力化
- ・ 栄養バランスのよい飼料の供給による生産性等の向上



○ 家畜改良の推進

(優良血統雌牛の導入・保留に対する助成等)

<子牛価格の推移>

	H20	H26	H27	H28
鹿屋市 平均価格	約40万円	約52万円	約63万円	約75万円
輝北地区 平均価格	約42万円	約57万円	約69万円	約81万円

※鹿屋市平均価格は輝北町を除く平均価格

○ 家畜防疫体制の強化

- ・ 初動防疫に必要な資材（消毒薬・液、防疫服等）の備蓄等

○全国に誇れる鹿屋市の畜産（本市生産者の受賞）

<県ホルスタイン共進会>

H27：8部門中6部門で1席獲得

H28：8部門中3部門で1席獲得

<県畜産共進会>

H27：グランドチャンピオン等

H28：九州農政局長賞等

<県枝肉共進会>

H27：グランドチャンピオン等

H28：グランドチャンピオン等

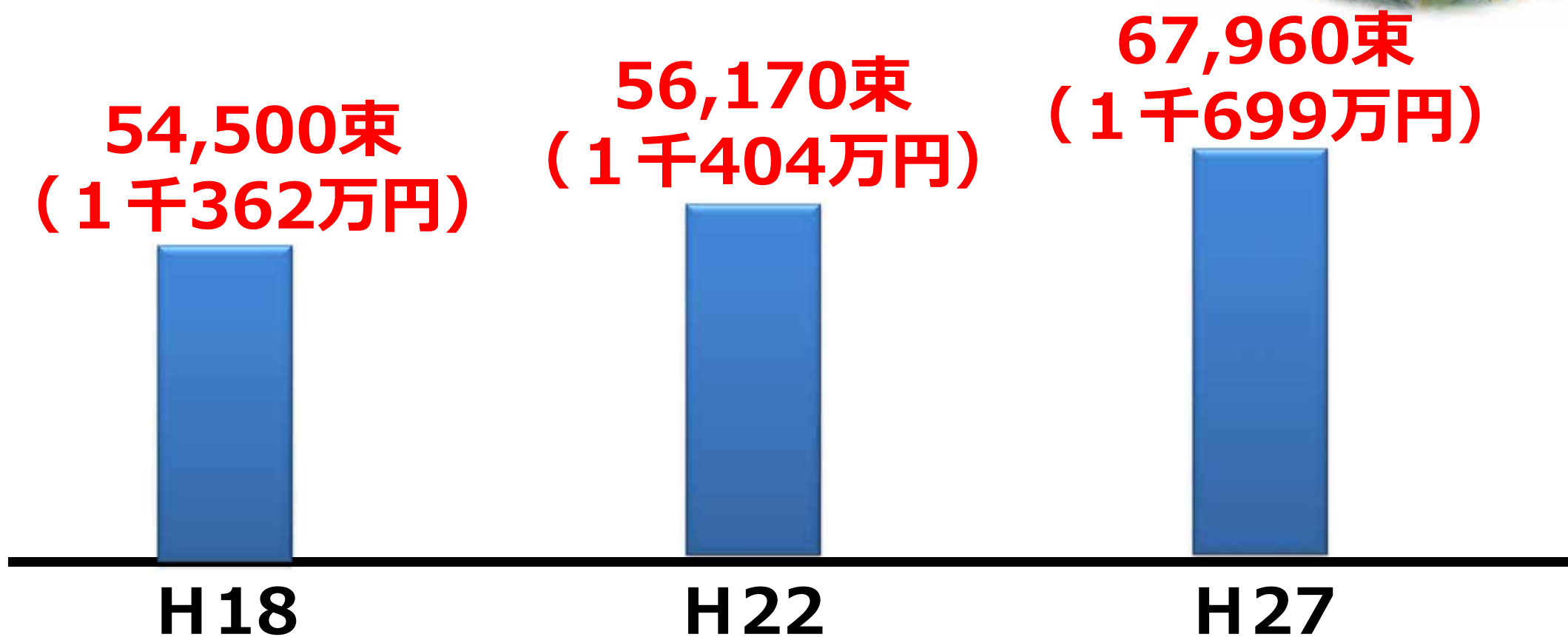


▲H28 県畜産共進会

全国和牛能力共進会（H29:5年に1度）での
更なる活躍を応援いたします！

○ 特用林産物の生産振興

＜輝北町枝物生産組合 シキミ出荷推移＞



※主な出荷先は、関西方面(広島県、岡山県、兵庫県)の市場

◆ H26からの設置総延長

- ・ 市全体 : 約50 km
- ・ 輝北地域 : 約14 km

・ 侵入防止柵の設置

・ 箱わなの無償貸出



▲ 電気柵の設置



▲ 箱わなの設置風景

補助金等の優遇制度や、トップセールス等による 企業誘致活動の展開

<立地企業の新增設件数>

- ・ H26 : 新設 1 件、増設 3 件
- ・ H27 : 増設 2 件
- ・ H28 : 増設 3 件

<輝北地域への企業立地>

○ 輝北食品跡への企業立地支援 【進出企業の概要】

- ・ 企業名称 : 九州新進(株)
- ・ 事業内容 : 食料品製造販売(漬物)
- ・ 操業開始 : 平成29年2月 (予定)
- ・ 新規雇用 : 3名



▲ 鹿鳥食品との立地協定

**戦略② 広域連携を積極的に
推進するまちづくりの取組
(広域連携)**

○ 広域連携による産科医確保対策

<背景>

	平成5年	平成15年	平成20年	平成26年～
大隅地域の医療機関数	11	8	7	4

	平成9年	平成26年
大隅地域の分娩担当医師数	16	6

公的医療機関：1
民間医療機関：3

○ 大隅地域の課題

① 医師不足（出生千人当たりの産科医師数）

大隅：2.9人 県：7.8人 全国：10.8人

② 過重労働（3 民間医療機関）

平均350分娩／人 > 日本産婦人科学会推奨150分娩／人

○ 広域連携による産科医確保対策

- ・ 大隅4市5町の首長・議長・関係団体等で構成する協議会を設置(H26.7月)
- ・ 産科医確保について要望活動等を実施
- ・ 大隅地域助産師奨学資金制度の創設 (H28~)



平成28年4月、市内の
医療機関に新たに2名
の産科医が着任

▲ 大隅4市5町保健医療推進会議

○ 広域観光の取組の方向性

< 推進体制 >

平成28年

おおすみ観光未来会議

- ・ 民間（宿泊、飲食、交通
農林漁業など）
- ・ 行政（大隅4市5町）

平成30年4月以降

民間主導体制の
スタート（予定）

< 具体的な取組 >

- ・ 広域観光戦略の策定（取組方針等）
- ・ 体験型観光メニューの販売
- ・ 各市町の地域資源の掘り起こし、磨き上げ など

鹿屋市⇒ 霧島ヶ丘公園、グリーンツーリズム、
戦争遺跡、スポーツ合宿など

○農家民泊の受入促進

- ・農家民泊開業支援補助金の創設（H28）
- ・修学旅行等の誘客促進 など



▲農家民泊の受入風景（輝北：安藤さん）

○農家民泊の受入促進



▲農家民泊の受入風景（輝北：鶴田さん）

■ 戦争遺跡の保存・活用

H29.1.25 市政報告会資料

○ 戦争遺跡の保存

- ・ 鹿屋市文化財に指定（H27）
 - ① 串良基地跡の地下壕第一電信室
 - ② 笠野原基地跡の川東掩体壕
- ・ 周辺整備（駐車場、案内板）



▲ 串良基地跡の
地下壕第一電信室

○ 鹿屋平和学習ガイドの育成 (認定者数：14名)

ツアー客や修学旅行生など、
これまで約5千人にガイド
案内を実施



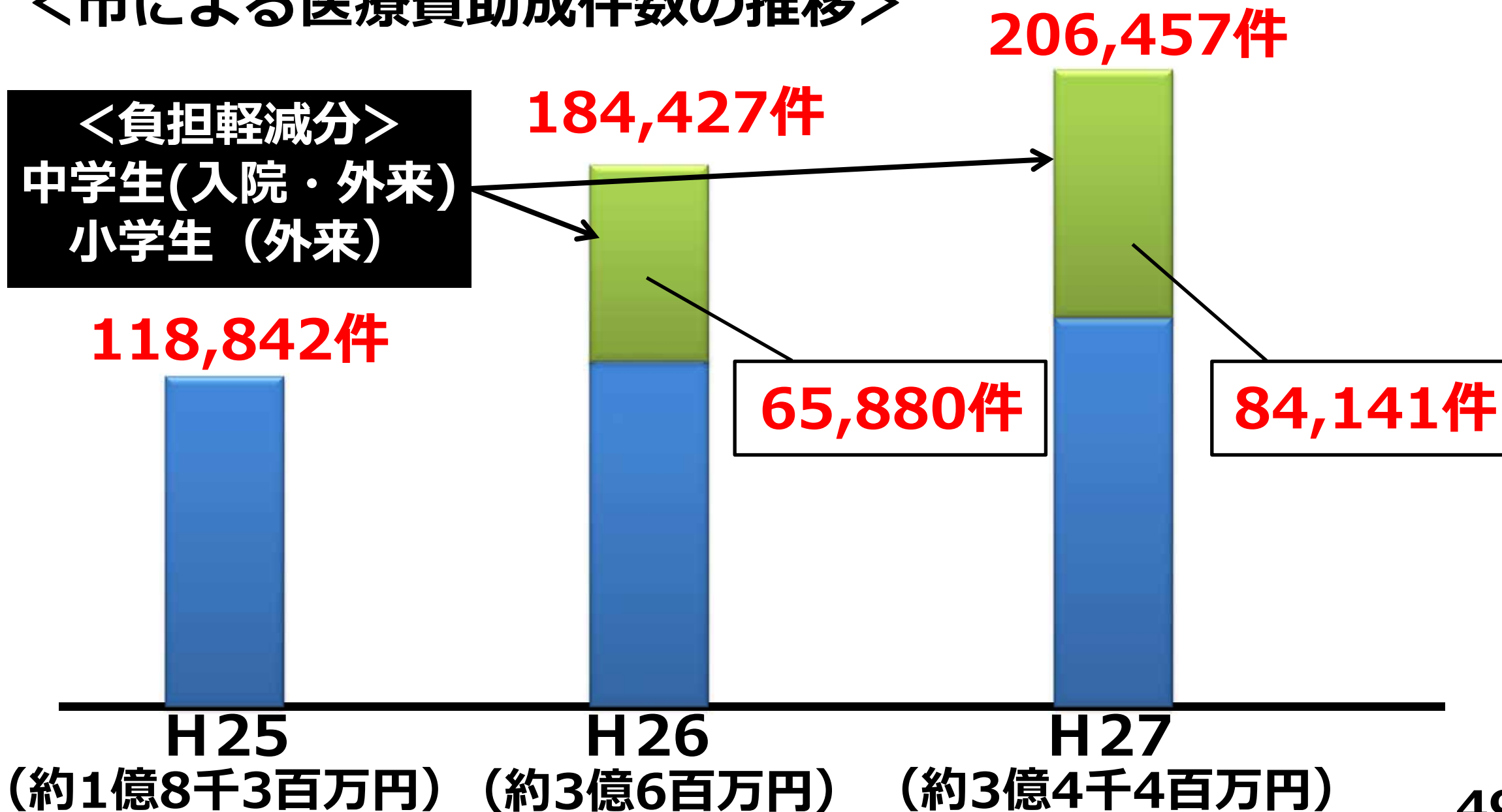
▲ ガイド案内の様子

**戦略③ 笑顔あふれる
安全・安心なまちづくりの取組
(医療・福祉)**

○中学生までの医療費無償化（H26年度～）

＜市による医療費助成件数の推移＞

＜負担軽減分＞
中学生(入院・外来)
小学生(外来)



○子育て世代支援センターの設置（H28新規）

各種相談対応

- ・相談内容に応じて支援プランを提案
⇒658件(H28.10月末)

訪問型産後ケア

- ・乳房ケア、沐浴指導

母乳相談

パパママ教室



▲子育て世代支援センター
(愛称「すくすくルーム」)
※市保健相談センター内

○一時預かり、病児保育、延長保育、放課後児童クラブなどの保育サービス等の充実・強化

○ファミリーサポートセンター事業

○支え愛ファミリー住宅改修応援事業（H28新規）

平成28年度から新たに子育て世帯、三世代同居世帯の住宅改修に対する助成制度を開始

【実績（H28.10.28現在）】

- ・子育て世帯：37件
- ・三世代同居：10件

- **基幹型地域包括支援センターと地域の窓口となる9か所のサブセンター（輝北：みどりの園）開設（H28.4月）**
 - ・ 鹿屋市医師会との連携（運営委託）により支援体制強化
 - ・ 相談窓口が増えて、より便利に！



■ 地域包括ケアの推進

○ 認知症支援の体制づくり

- ・ 認知症支援のサポートワーカーの養成
- ・ 認知症に関する身近な相談窓口「オレンジの窓」の設置
- ・ オレンジカフェ（認知症カフェ）の実施 など

2年間で62名
を認定

市内10か所
で実施

輝北(1カ所)：
グループホーム
輝望の家



▲ オレンジカフェ

○「鹿屋市健康づくり条例」制定（H28.4月施行）

生活習慣病予防、栄養（食）、運動などの健康づくりの取組により、市民の主体的な健康づくりを推進

生活習慣病予防

- ・ 特定健診、がん検診の実施（節目年齢の無料検診など）
- ・ 30歳代健康さっぷ事業（子育て世代の受診機会の提供）

身体活動・運動

- ・ 鹿屋体育大学との連携による体力測定等の実施等



▲ぴんぴん元気教室

栄養・食

高齢者の健康づくり

歯・口腔

など 54

**戦略④ 心豊かに学び、地域文化を
育むまちづくりの取組
(教育・文化)**

・ 市民が文化活動で活躍できる場の提供 (H27~)

【開催実績】

H27: 3回

H28: 4回 (予定)



▲市役所ロビーコンサート

■スポーツ施設の整備

H29.1.25 市政報告会資料

- ・ 平和公園野球等屋内練習場の新設（H27.12月）
- ・ 今後も「鹿屋市スポーツ施設再配置計画」に基づき計画的な施設整備を実施

大隅地域初の
屋内練習場



▲屋内練習場（外観）

供用開始から1年で
延べ1万2千人が利用



▲利用風景

■ スポーツ合宿まちづくりの推進

H29.1.25 市政報告会資料

県内初の取組

- ・ 産学官連携によるスポーツ合宿の推進
(かのやスポーツコミッションの設立)

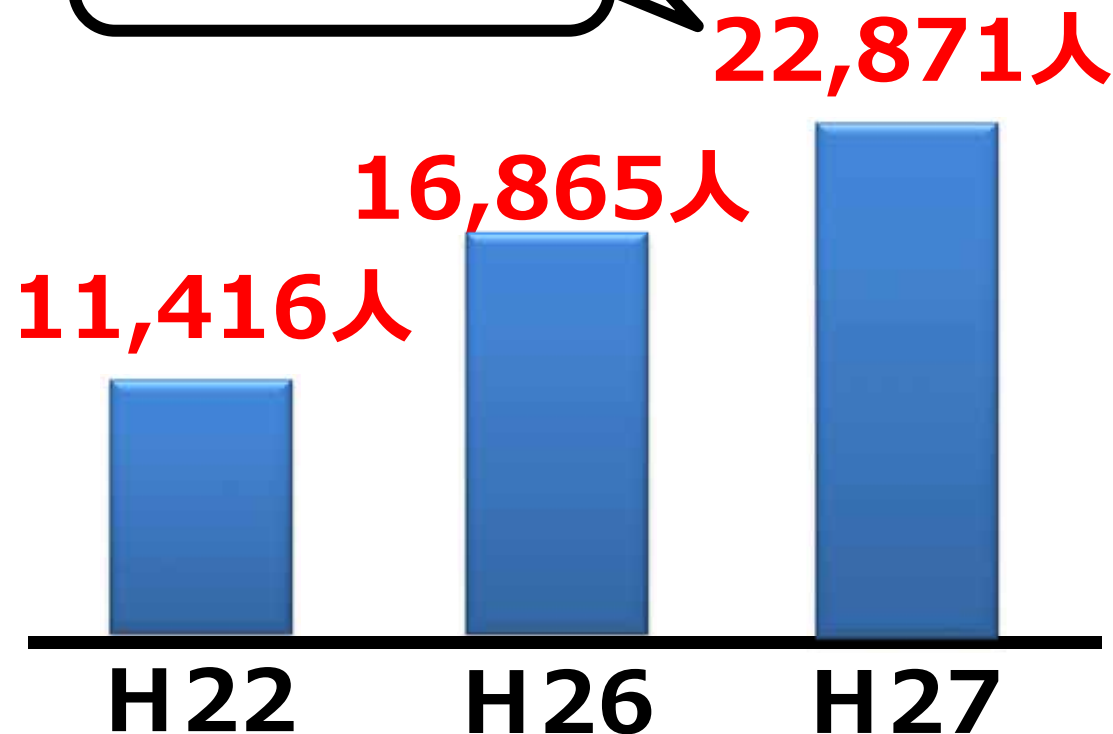
去年は韓国の3つの
高校が合宿を実施



▲ 韓国高校野球の合宿

＜スポーツ合宿者数の推移＞

合宿者数は
県内1位！



○競技力の向上

- ・市民スポーツ課内に国体準備室を設置（H28.4月）
- ・選手育成に向けたスポーツクラブ・強化スクールの発足（H27.6月）

○鹿児島国体ボート会場

- ・輝北ダムを会場とする方針を県に報告（H28.12月）

開催に向けた課題

- コース（走路）の確保（水深不足の可能性、水質浄化）
- 平地の確保（ボート整備広場、観覧席等の確保）
- 輝北ダムまでのアクセス道路の改善

○「CIEL BLEU 鹿屋」等との連携による 自転車まちづくりの推進



▲「CIEL BLEU鹿屋」結成
記者会見（H28.2月）



▲かのやサイクル
フェスティバル
（H27.12月）

■教育の充実・強化

○英語教育の充実・教科

- ・教育課程特例校指定（英語特区）による小学1年生からの英語教育の実施

○平和教育の推進

- ・「平和の花束」の実施（H26～）

市内全域での実施は
県内で鹿屋市のみ！

九州管内の小中高等
学校から1,933点の
メッセージ応募(H28)



▲小学校低学年の授業風景



▲平和の花束2016

- ・ 大始良地区学習センターと花岡地区公民館で鹿屋寺子屋事業を開始（今後、年次的に輝北・串良・吾平で開設予定）
- ・ 学びと地域の方々との交流を通じて、子ども達の学力向上と郷土愛醸成



学力向上

▲大始良夢現塾



郷土愛醸成

▲はなおか未来塾

**戦略⑤ 安全で快適に暮らせる
まちづくりの取組
(生活環境)**

○ 防災訓練の充実・強化

- ・ 地域ごとの防災訓練の実施、防災マップ作成研修
(津波避難訓練、水防訓練、土砂災害訓練など)

○ 女性消防団員の活性化

- ・ 女性消防団員20名
(うち輝北中央分団：5名)

【実施予定】

1/26: 図上訓練(市成地区)

2/16: 実働訓練(市成地区)



女性消防団員募集中！

○ 消防団の活性化

- ・ 消防操法大会を通じた消防技術の向上と士気の高揚

【鹿児島県消防操法大会の実績】

H26年度：（ポンプ車の部）	優勝	市成分団
H28年度：（小型ポンプの部）	準優勝	平南分団



▲ H28年度 鹿児島県消防操法大会

■ 危険空家の適正管理

解決済：270件
未解決：401件

○ 管理不全な空家：671件

※町内会や市民から苦情、相談等で把握した件数(H23～28)

○ 危険空家解体撤去工事補助金の創設（H26）

<解体補助の実績（輝北地域の実績）>

H26：32件(0件) H27：53件(3件) H28：56件(2件)



▲ 解体前



▲ 解体後

■ 移住・定住対策の推進

- ・ 空き家バンク制度の創設 (H27)
- ・ 移住・定住相談員の配置 (相談窓口のワンストップ化)
- ・ 移住体験ツアーの実施

< 移住実績 (H27~) >

相談窓口等を通じた移住件数：14件 (28人)

登録物件数

19件 (輝北1件)

参考

AERA(アエラ)
2015年9 / 14号

子育て世代 ★ ★ ★
高齢者 ★ ★ ★

- ・ 豊かな食材を育む自然環境
- ・ 市街地には商業施設・病院
教育機関などが充実。

“ほどよい地方都市”



○ 東九州自動車道（鹿屋串良～曾於弥五郎）、
大隅縦貫道（串良鹿屋道路）の開通（H26年12月21日）



▲ 開通式典(H26.12月)

▲ 開通記念プレイイベント
「Oh! おおすみ たまRUN」
(H26.12月)

■ 道路環境の維持・整備

○ 穴ぼこなどの補修、樹木伐採による道路環境の整備

【施工箇所数】

H26 : 688

H27 : 801

H28 : 740(10月)

- ・ 市道定期点検の実施（職員、直営作業員による点検）
- ・ 除草伐採等の維持管理（直営作業員29人7班体制）
- ・ 穴ぼこなどの危険箇所の通報に関する協力依頼（広報かのや、防災行政無線等での周知）

【維持修繕の実績】

	平成26年度		平成27年度	
	路線数	金額	路線数	金額
舗装修繕・ 新設工事	60	1億1,152万円	57	1億456万円
側溝修繕・ 新設工事	22	3,308万円	20	5,093万円

○輝北簡易水道事業の鹿屋市水道事業への統合（H29～）

＜統合の背景＞

- ・整備に係る国の補助制度の見直しにより、簡易水道事業の統合が求められたところ（統合しない簡易水道事業には補助しない）
- ・今後、水需要の伸びが期待できない中での健全経営維持

「鹿屋市簡易水道事業統合計画」策定

統合による効果

- ・今後の施設改修や維持管理の財源確保
- ・施設の充実、災害や漏水時の非常時における体制強化

○ 町内会活動支援の充実・強化

- ・ 広報誌配布等、市の委託事務に対する交付金
- ・ 自治公民館の整備に対する助成
- ・ 地域課題解決、地域活力推進を図る活動への助成 等



町内会主催の
運動会や敬老
会などに活用

▲ 百引町内会 グランドゴルフ大会

○ 輝北未来会議

輝北地域の各種団体等が一同に集まり、地域の活性化や課題解決などに向けた協議等を実施（H26～）

【取組実績】

- ・ 小さな拠点づくりプランの策定
- ・ プランに基づく、集落生活圏づくりに向けた協議等



▲ワークショップ



▲先進地視察（日置市）

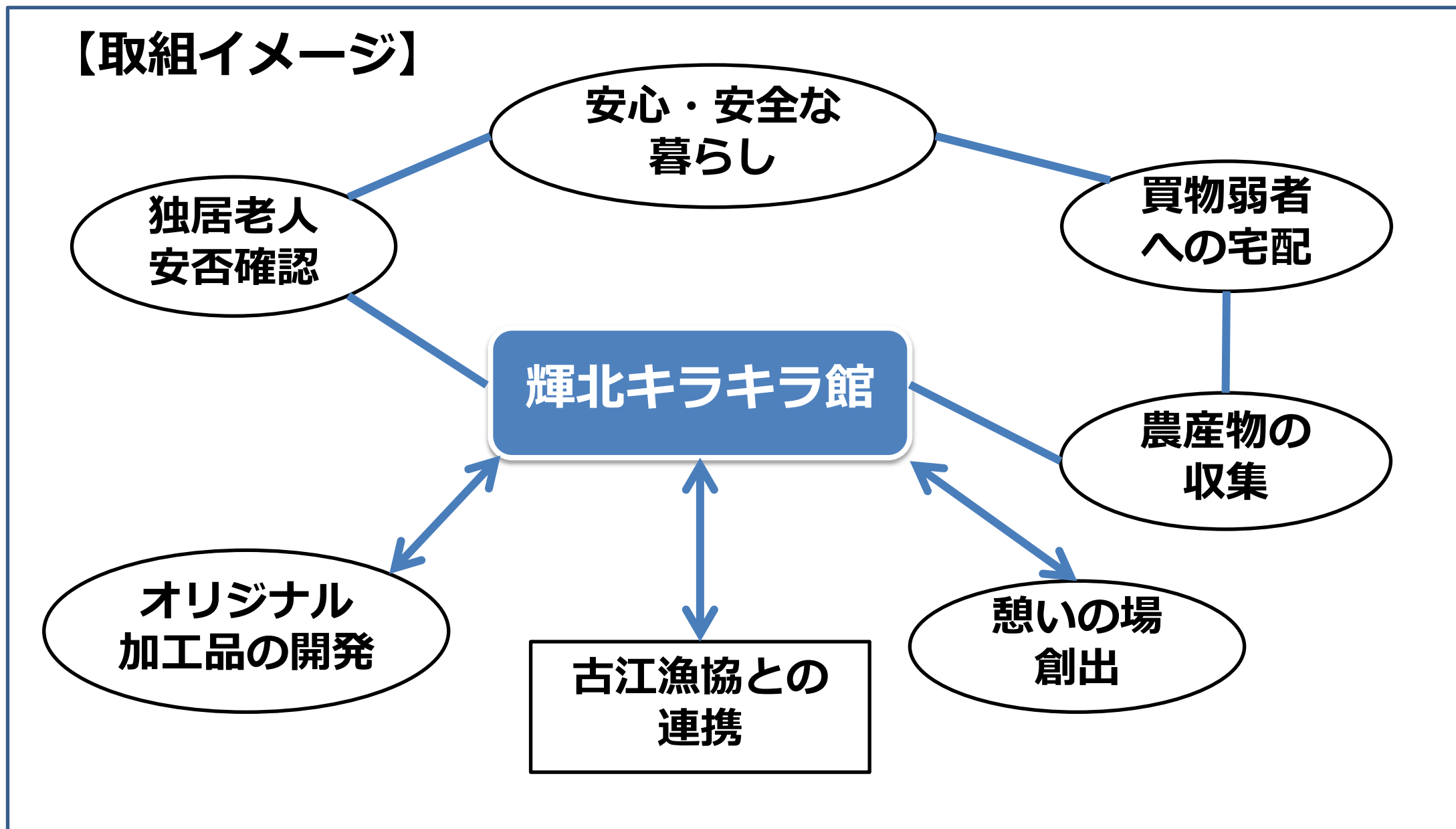
○ 輝北キラキラ館の取組

- ・ 地元農作物の集配、販売
- ・ 買い物弱者への宅配、独居老人の安否確認
- ・ 古江漁港との連携による海産物の販売 など



▲ 輝北キラキラ館

○ 輝北キラキラ館等を中心とした小さな拠点づくり



○ 輝北うわば公園を活用した特色あるイベントの実施

- ・ 星空Konkatsu（婚活事業）
- ・ 星空のまちフォトコンテスト
- ・ 南日本クロスカントリー大会in輝北 など



▲クロスカントリー大会



▲観月会（輝北天球館）

輝北ふれあいセンターの利活用

多世代の地域住民が憩える場や、災害時の安全安心な避難所として、輝北地域の福祉の拠点施設としての有効活用を推進

○子育て支援施設の設置

- ・ふれあい広場ぽかぽか設置
- ・グラウンド内への遊具設置

○老朽化対策の実施

- ・屋根の改修（防水）工事等

○災害時の避難所としての機能強化

- ・太陽光発電設備、蓄電池、LED照明の設置



▲デイサービス利用者と民生委員等との交流会

**その他、重要課題への
取組について
(台風16号関係)**

台風の最接近	平成28年9月20日(火) 午前0時すぎ (南大隅町付近)
台風の規模	中心気圧 965hpa
雨量(最大値) 19日10時~20日5時	累積雨量 341ミリ 時間雨量 127ミリ (観測地点: 輝北総合支所)
風速(最大値)	38.3m/秒 (観測地点: 鹿屋農高)
避難者(最大時)	98世帯 137名 (畳・エアコン等、設備の充実した施設16箇所を第一次避難所として開設)
人的被害	負傷者 8名 (死者・行方不明者なし)

<p>住宅被害</p>	<p>全壊：4棟(住家3・非住家1) 半壊：1棟 一部損壊：2棟 浸水：(床上:49件、床下:46件)</p>
<p>橋梁等の被害額 約31億円</p>	<p>橋梁8件(流失6橋、損壊2橋) 市道法面崩壊等335路線</p>
<p>農林水産被害額 約27億4千万円</p>	<p>農業関係：水稻、施設野菜・花きの葉茎痛み 畜産関係：鶏(約6万羽)、豚(約1千頭) 畜舎倒壊、飼料作物等 水産関係：カンパチ(約2万3千匹)等 農地関係：水田への流木・土砂流入、農道 の法面崩壊 等</p>

○ 輝北地域における被害状況



▲ 輝北町 荒平橋付近

○ 輝北地域における被害状況



▲ 輝北町 百引岳野線（市道）

○ 輝北地域における主な被害状況

項目	内容等
家屋被害	半壊：1棟（住宅）
橋梁被災	<ul style="list-style-type: none"> ・ 荒平橋（堂籠川） ⇒ 損壊 ・ 高首橋（堂籠川） ⇒ 流失 ・ 宮元橋（堂籠川） ⇒ 流失 ・ 平野橋（梅ヶ渡川） ⇒ 流失
河川災害	<p>法面崩壊等 <河川名> 浦谷川、堂籠川、久木野々川、宇都川、 荒平川、梅ヶ渡川</p>
農業関係	<p>【農地関係】 水田への土砂・流木流入等 【畜産関係】 水害による溺死（豚300頭）等</p>

時期	内容
9月～12月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害復旧補正予算対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 応急工事、復旧工事、農業者の事業再建支援等 <div style="background-color: #e6f2ff; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="margin: 0;">9月：6億2百万円 10月：5億5千万円</p> <p style="margin: 0;">12月：5億6千万円</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 激甚災害法の適用（10月26日） <ul style="list-style-type: none"> ・ 国庫補助率を最高95%まで嵩上げ ○ 輝北地区住民説明会（11月） <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0; text-align: center;"> <p style="margin: 0;">国の災害査定（11月～1月）</p> <p style="margin: 0;">⇒12月・3月補正、H29当初予算に反映</p> </div>
1月～3月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 輝北地区住民説明会（2月：予定） ○ 災害復旧補正予算対応（3月補正予算）
4月～	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害復旧予算対応（平成29年度当初予算）